

(特非) 温暖化防止ネット

地域での小水力発電導入に向けた 基盤形成活動

イベントの 延べ参加者数	1,700人
イベント参加者 の満足度	100%
活動の全体目標 に対する達成度	100%



小水力発電体験イベントの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

小水力発電体験イベントに、年間約1,700名が参加し、小水力発電の仕組みや特徴を学んだ。理解度を計るクイズでは、ほぼ100%の正解が得られ、参加者の理解や関心が高まった。

●工夫

環境やエネルギー関連の他のイベントとのコラボレーションによる相乗効果で、多様な情報の収集と集客アップが図れた。

課題

- ・県民に小水力発電事業に関する情報が浸透しておらず、推進したい側の職員の知見も浅い。
- ・小水力発電の導入に関して不安があり、地域コミュニティの合意が得にくい。

目標

- ・小水力発電に関する県民の理解や関心が高まり、地域での導入に対して前向きなイメージを持つことができる。職員の知見も深まる。
- ・小水力発電の導入に向けて、情報の収集と連携のためのネットワークを築く。

活動内容

- ・先進地事例4ヶ所の視察研修会等を通して、地域での小水力発電導入、活用に導く人材の育成を行った。
- ・小水力発電体験イベントを年間16日開催し、小水力発電の特徴、発電のしくみ、再生可能エネルギー導入の必要性等を紹介した。
- ・県内各地での事前調査を経て、小水力発電導入候補地を1カ所選定し、現地での調査や、地域住民、行政、事業者、専門家等との意見交換を重ね、導入の可能性の検討と課題の抽出を行った。



学んだことを発表する
イベント参加者

達成できなかったこと

小水力発電導入候補地の住民、事業者、専門家との意見交換を重ねる中で、取水地点に係る意見の相違等、解決すべき課題があり、導入計画を一旦保留とすることとなった。

今後の展望

助成期間中に築いたネットワークを活かし、各地域で小水力発電の導入を実現させ、低炭素社会を構築する。